



PRESS RELEASE

報道関係各位

2022年8月3日

## 「カリフォルニアワイン・リージョナル・ショーケース 青森」 プロにも消費者にも好評のうちに終了

カリフォルニアワイン協会は、本年8月2日(火)に八戸パークホテル(青森県八戸市)にて「カリフォルニアワイン・リージョナル・ショーケース」を開催しました。当日は、ワイン業界関係者38名、一般消費者26名が来場し、カリフォルニアワインに対する理解を深めました。

カリフォルニアワインインポーター13社が出展し、小売価格1,000円台から20,000円台までの62アイテムを出品。午後にはワイン業界関係者を対象とした基礎セミナーと試飲商談会を、夜には一般消費者を対象としたテイastingイベントを実施しました。

基礎セミナーでは、カリフォルニアワイン協会リードエデュケーターの山本香奈が協会公認教育プログラム「キャップストーン・カリフォルニア」\*のメソッドに従い、講義を行いました。講義中の試飲には産地やブドウ品種の異なる5種類のワインを供し、カリフォルニアワインの多様性への理解を促しました。受講した小売店バイヤーは「普段から勉強して知っていたつもりでいたことも、改めて説明して貰えると腑に落ちる」と、セミナーの意義を評価しました。



※体系的な学びの体験を通してカリフォルニアワインの知識を深められるよう、世界中の人々を対象としたカリフォルニアワイン協会が開発したプログラム。初級・中級・上級・専門家/アンバサダーの4つのレベルで構成されており、現在、日本語ではレベル2までが開講中です。詳細はこちら → <https://calwines.jp/b2b/news/news-535/>



試飲は、ブースを回遊するスタンディング形式で実施されました。試飲商談会参加者からは「セミナーを聞いた後に試飲し、自身が良いと思うワインの傾向がよくわかった。(酒販店経営者)」「これだけ一度にカリフォルニアワインだけを試飲できる機会は他にない。継続して欲しい。(料飲店経営者)」という声が聞かれました。ビュフェ形式での料理が付くテイastingイベントは、コロナ感染拡大の心配から当初は参加を控える消費者が多かった中、先の商談会参加者が改めて来場するなど、試飲の満足度の高さが表れる形となりました。

カリフォルニアロールやコブサラダをはじめとするカリフォルニア料理5品が供され、ワインとの相性を探りながらテイastingする機会を提供。ひとつの料理をひと口ずつ、異なるワインと合わせるなど、多くのアイテムが揃う試飲会ならではの楽しみ方をする姿も見られました。

「カリフォルニアワイン・リージョナル・ショーケース」は、地方都市におけるカリフォルニアワインの経験及び理解の促進を目的とした企画です。昨年10月に富山・仙台で開催したパイロット企画の好

反応を受け、より包括的な形で実現させました。この度の八戸市での開催を皮切りに、今後、各都市で展開していく予定です。

カリフォルニアワイン協会(本部・カリフォルニア州サンフランシスコ)は、1,000社を超えるカリフォルニアのワイナリー及びワイン関連企業から構成される非営利団体で、ワインの生産や流通や消費に関する政策的な提言を行っています。輸出プログラムにおいては、世界18カ国に事務所を置き、世界27カ国でマーケティングとプロモーションを実施しています。ワイン業界関係者・メディア・消費者向け試飲会の実施などをサポートしており、毎年185以上のカリフォルニアのワイナリーが当プログラムに参加、142カ国にワインを輸出しています。日本事務所は、カリフォルニアワインの普及促進、日本市場における関税、非関税障壁の監視などを目的に1985年に設立されました。[www.calwines.jp](http://www.calwines.jp)

以上

<p>この件に関する読者からのお問合せ先 <b>カリフォルニアワイン協会日本事務所</b> E-mail : <a href="mailto:info@calwines.jp">info@calwines.jp</a> 電話番号 : 03-6629-3658</p>	<p>この件に関する報道関係者様からのお問合せ先 <b>KONDO SAORI OFFICE 近藤 さをり</b> E-mail : <a href="mailto:saori@saorikon.com">saori@saorikon.com</a> 電話番号 : 080-7011-5747</p>
---	--